

保健師職能委員長あいさつ

竹島 久美子（愛知県一宮保健所）

平成30年6月22日総会において、保健師職能委員長に就任いたしました。

保健師職能委員6名中5名も新たな就任です。皆で頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国では、少子超高齢化社会を迎え、全世代型社会保障制度改革が推し進められています。国を挙げて、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。私は、就職以来保健師の世界にどっぷりつかっておりますが、保健師職能委員長という役割につき、看護師・助産師の方々と意見を重ねる機会をいただきました。どの看護職も真剣に考え、方策を検討している姿を目の当たりにし、「全ての世代が安心して暮らすことができる、地域づくり・システムづくり」には、看護職として力を結集し取り組んでいくことが重要だと改めて実感いたしました。来る2月13日（水）には、保健師職能がコーディネートする「地域包括ケアシステム」を中心にした三職能合同集会在実施されますので、是非ご参加ください。

その他の保健師職能委員会の取り組みは、9月の研修で保健師のキャリアラダーと人材育成について考え、11月と12月に保健指導ミーティングとして事例検討とそのファシリテートの手法を学びました。多くの保健師の参加をいただき感謝すると共に、継続した研修を企画することの必要性を感じたところです。

また、昨年9月から2か月にわたり実施した「保健師の活動基盤に関する基礎調査」にご協力をいただきありがとうございました。多くの非会員の方にも回答をいただきました。

最後に、地域・職域・病院等それぞれの所属で一人ひとりの命と暮らしを支援し、すべての方々の健康の向上をめざす保健師であるために、保健師職能の力を発揮できたらと思います。

愛知県看護協会への入会についてもよろしくお願い申し上げます。

## 三職能合同集会を開催します！

【日時】平成31年2月13日（水）10:00～15:30

【会場】愛知県産業労働センターウインクあいち

【内容】午前：交流会

「全世代型の地域包括ケアシステムをめざして」

- 「地域診断に基づく住民と共働による健康づくり」  
豊田市保健部地域保健課 主任主査 岩井知子氏
  - 「“目指すは地域包括データヘルス計画”  
～国保発、まちの保健をつなげる仕掛けづくり～」  
武豊町健康福祉部保険医療課 副主幹 小林美紀氏
- 午後
- 「地域包括ケアシステムにおける看護職の役割」  
公益社団法人 愛知県看護協会 会長 鈴木正子氏
  - 「地域包括ケアシステムの深化・進化  
～地域で支えあうしくみづくり～」  
日本福祉大学 地域ケア研究推進センター長  
教授 原田正樹氏

## ～ 看護協会への入会 受付中 ～

愛知県看護協会は、約37,000名の看護職の職能団体です。そのうち保健師の会員は550名ほどです。（平成30年末）

看護協会では、保助看の看護職が各専門性を発揮しつつ安心して働き続ける環境づくりに向けて、愛知県へ要請を行っています。地域包括ケア推進のために地区支部では、看護職間の連携に取り組んでいます。様々な部署で働く保健師間での勉強会も開催しています。

行政で働く保健師さん！  
企業で働く保健師さん！  
病院で働く保健師さん！  
福祉で働く保健師さん！…

多くの皆さまの加入を  
お待ちしております。



## 研修会「保健師のキャリアラダーと人材育成」

～保健師の想いとキャリアラダーをつなぐ未来を考える～

平成30年9月8日(土) 13:30~16:30 愛知県看護研修会館 受講者数37名

保健師免許取得までの教育背景や就職までの職務経験が多様化する中で、平成28年3月に厚生労働省より、各保健師の能力の獲得状況を的確に把握するために能力の成長過程を段階別に整理した「自治体保健師の標準的なキャリアラダー」が提示されました。

このような流れを受け、看護協会では武蔵野大学大学院の中板育美先生を講師に「保健師のキャリアラダーと人材育成」をテーマに研修会を実施しました。

はじめに、愛知県保健師職能委員の日高前職能委員長より、平成29年度に県内保健師を対象としておこなったキャリアラダーに関する意識調査の結果について、以下の報告と提言がありました。

○調査結果から、保健師が将来目標を描くことができない現状や、キャリア形成意欲について中堅期保健師の課題が明確になった。

○看護協会として、新任期は事例検討を行いながら職能団体についての推進・普及を図るとともに、中堅期のコンサルテーションに関する研修の必要性がある。

中板先生の講義では、特に中堅期保健師に向けて、保健師として何が大事であるかを再度押さえたいと、以下のようなお話をされました。

○保健師の支援は、対象者と時には対峙関係となることもあるが、支援を中断しても問題が表面化しにくく、生活上大きな支障にはなりにくい。そのことが保健師の力量の個人差につながる。

○相手がかかわりを拒否した場合でも、そこで支援を切ってしまうか、食い下がって必要な時に手助けできる位置に居続けようとするかが、保健師として成長できるか否かにつながっていく。

○市町村ごとにキャリアパスを作ることで、将来像の見通しを立てることができるため、県は市町村をサポートし、市町村は人事も巻き込んでキャリアラダーとキャリアパスを作してほしい。

その後にグループワークをおこない、人材育成の現状や課題について活発な意見交換がされました。保健師の原点に戻ることができ、とてもエンパワーされた1日でした。

### 研修会 「保健師のキャリアラダーと人材育成」

～保健師の想いとキャリアラダーをつなぐ未来を考える～

研修会の様子



## 保健指導ミーティング

### 「新任期保健師の実践力アップ」 | Nウインクあいち

平成30年11月19日(月) 13:45~16:45 受講者数42名

「保健指導ミーティング」は新任期保健師及び、指導保健師の保健指導のスキルアップの動機づけとなり、新任期保健師の自律を促すとともに、多様な領域に所属する保健師等のネットワークの形成を目的とし、今年度は実践事例検討を2回開催しました。第1回は名古屋会場で開催し、行政や医療、福祉などの領域から、新任期保健師を中心に多くの参加がありました。

「実践力UP 事例検討会」を取り入れ、日本看護協会保健師職能委員会副委員長の榊原り子氏の「アセスメントを深めるためのファシリテーターの手引き」に基づいた講義に続いて、名古屋市港区保健福祉センターの軸屋絵里子氏から事例発表、同センターの江崎道代氏から地域における支援制度の活用についての報告がありました。その後、2グループに分かれ、ファシリテーターの進行で意見を出し合い、「特定妊婦への切れ目ない支援」について事例検討を進めました。

「意見を板書し、見える化しながら進める事例検討の有効性」や「アセスメントの重要性を感じた」、「様々な意見を出し合うことによる支援の広がりを経験できた」等の感想をいただき、今後の保健指導に活かされる研修会となりました。



## 保健指導ミーティング

### 「新任期保健師の実践力アップ」 | N岡崎福祉会館

平成30年12月4日(火) 13:30~16:45 受講者数59名

2回目は岡崎市保健所の皆様のご協力のもと広々としたホールで開催しました。1回目と同様、日本看護協会保健師職能委員会副委員長の榊原り子氏による事例検討のノウハウについての講義の後、豊橋市保健所の高木綾乃氏からの事例発表、同保健所の原田紀子氏より地域の取り組みの報告がありました。その後、3グループに分かれて「特定保健指導の行動変容を促す支援」について1時間程度のグループワークを行いました。

「やる気はあるがなかなか行動変容につながらない事例」について「事実」や「想像・印象」「不明点」に整理し、「アセスメント」を行い「支援の方向性」の確認をしました。またグループワークでは、1回目・2回目ともに板書は実際に受講者が体験し、そのノウハウについて学びを深めることができました。

受講者の内訳としては新任期が最も多く、次に6~10年が多く1回目に比べ中堅期の参加の割合が高い状況でした。受講動機としては「興味あるテーマであったから」と「スキルアップをしたいから」との回答が約半数でした。受講者からは「自分一人では気付かないことが受講者同士で検討することで幅広い視点をもつことができた」などの意見が出され、保健指導のスキルアップにつながる研修になりました。

## 「あいち県民健康祭」に参加して in あいち健康プラザ

平成30年9月15日(土)・16日(日) 受講者数 1,106名

9月健康増進普及月間に伴い、15日・16日の2日間にわたり、あいち健康プラザ あいち健康の森公園において「あいち県民健康祭」が開催されました。今年度のテーマ「健康に向かって、みんなでスポーツ!!」で、プロフィギュアスケーターの村上佳菜子氏のトークショー、四字熟語を完成させる脳トレチャレンジ、日頃の健康づくりの成果の発表ステージ、セグウェイ体験などさまざまなイベントがあり、老若男女、子ども連れの家族も多数参加し、会場全体が笑顔に溢れていました。

愛知県 HP [https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/212299\\_589856\\_misc.pdf](https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/212299_589856_misc.pdf)

愛知県看護協会は、とっておき健康情報展で、①看護師さん! なりきりナース、②からだのバランスチェック、③簡単ロコモチェックを行いました。看護師さん! なりきりナースは、子ども用のナースユニフォームを貸し出しての写真撮影を行い127名の子どもたちが参加しました。からだのバランスチェックは492名、簡単ロコモチェックには487名が受講しました。からだバランスチェックは、タンバリンのリズムに併せて、閉眼で足踏みを50回行いました。

同じ場所で足踏みをしていたつもりが、目を開けてびっくり! 思わず笑いが止まらない、にぎやかなブースになっていました。

当日は、保健師職能委員の他に、助産師職能委員、看護師職能委員、協会事務局、延べ16名で対応しました。



### 平成30年度保健師職能委員会自治体訪問活動



平成30年10月24日、1日かけて尾張地域の4市町村を訪問しました。保健師の看護協会加入促進が主な目的で、初めて訪れる自治体もあり、交通機関の乗り継ぎに四苦八苦しながらの訪問でした。けれども、訪れた4つの市町村とも、温かく迎えていただき、やっぱり同じ保健師仲間なんだと改めて感じました。

組織体制や業務課題等をお聞きしたところ、どの市町村も、地域の状況と住民の特徴等を地区診断し、そのうえで、保健師の人数・経験等を鑑みて、もっともよい人員配置を試行錯誤しつつ、日々の保健活動につなげている状況がわかりました。

看護協会への要望としては、事例検討会や保健師のモチベーションやマインドアップ等の研修の実施の声をいただきました。11月と12月に開催した保健指導ミーティング(事例検討とそのノウハウを学びました。)へ参加していただいたことは言うまでもありません。



愛知県保健師職能委員

竹島久美子  
三原亜矢巳  
藤原啓子  
大橋加奈  
加藤寿子  
水谷聖子  
担当理事  
和久田月子

#### <編集後記>

会員の皆さまには年度末の慌ただしい日々をお過ごしかと思います。職能委員1年目として活動をして、多くの学びの機会があり、学生時代の同級生と再会することもできました。少しでも皆さまのお役に立てるような活動と研鑽をしていきたいと思っています。(大橋)